



平成 29 年 8 月 2 日

各 位

会 社 名 株式会社カッシーナ・イクスシー
代表者名 代表取締役 社長執行役員 森 康洋
(JASDAQ・コード番号 : 2777)
問合せ先 取締役 執行役員管理部長 小林 要介
電 話 03 - 6439 - 1360

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績等の動向を踏まえ、平成29年2月10日に公表いたしました業績予想を、下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 平成 29 年 12 月期第 2 四半期累計期間(平成 29 年 1 月 1 日～平成 29 年 6 月 30 日)連結業績予想の修正

単位：百万円

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1 株当たり 四半期純利益
前回発表予想 (A)	6,000	100	80	35	円 銭 9 22
今回発表予想 (B)	5,497	15	11	4	1 21
増減額 (B) - (A)	502	115	91	39	
増減率 (%)	8.4	-	-	-	
(ご参考) 前年同期実績 平成 28 年 12 月期第 2 四半期実績	4,644	56	64	21	5 77

2. 業績予想の修正理由

当第 2 四半期累計期間において、カッシーナ・イクスシーのハウジングメーカー、マンションデベロッパー向け営業部門、百貨店向け営業部門、大阪営業部及び大阪店の売上が予想を下回ったことを主要因として、売上高が前回発表予想を下回る見込みであります。また営業利益につきましては、連結子会社であるコンランショップ・ジャパンの売上は順調に伸びているものの、オリジナル商品の販売が予定通り推移していないこと、及びセール売上の比率が高止まりしていることなどから粗利率が予想を下回ったことが響き、販売費及び一般管理費の効率的な使用に努めましたが、売上高の下方修正分をカバーすることができず、前回発表予想を下回る見込みであります。

営業外損益、特別損益及び税金費用につきましては、おおむね予想の範囲内となりました結果、経常利益及び親会社株主に帰属する四半期純利益につきましても営業利益の予想修正とほぼ同様の理由により、前回発表予想を修正するものであります。

3. 今後の見通し

平成 29 年 12 月期通期業績予想につきましては、カッシーナ・イクスシーの法人営業部門において第 3 四半期以降の受注が順調に積み上がりつつあること、青山本店の改装に伴う増収効果が第 3 四半期以降に期待できること、また連結子会社であるコンランショップ・ジャパンにおいては増収傾向の継続に加えて、第 3 四半期以降に投入する家具を中心としたオリジナル商品の販売強化策によって収益性も改善する予定であることから、前回発表予想である売上高 12,500 百万円、営業利益 550 百万円、経常利益 500 百万円、親会社株主に帰属する当期純利益 270 百万円を修正いたしません。

4. その他

上記の業績予想につきましては、本資料の発表時点において入手可能な情報及びその業績に影響を与える不確実な要因に係る仮定を前提としております。実際の業績は、今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

以 上